

(2) 安全でおいしい水づくり

・ 水道水の安全性

今、世界中で安心して水道水を飲める国は少なく、多くの国の水道水は、実は飲み水に適していないのです。

しかし、日本の水道水は、安心して飲むことができます。これは、日本の水道には国が定めた厳しい基準があって、この基準をクリアした安全な水が、わたしたちの家庭に届けられているからです。もちろん、千葉県の水道水も安心して飲むことができます。



蛇口での水質調査

・おいしい水づくりへの取組

県営水道では、「安全・おいしい水プロジェクト2021-2025」により、嫌なにおいや不快な味を感じない、安心して飲める水道水を目指した「おいしい水づくり」への取組を進めています。

おいしい水づくりオフィシャルサイトでは、安全でおいしい水道水をお届けするための取組内容や水のなるほど豆知識など様々な情報を知ることができます。



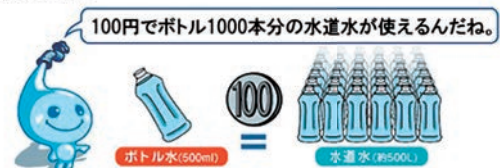
■ その5「水道水」を飲むのって、実はかしこい？

(1) 「水道水」と「ボトル水」の値段を比べると？

普段使っている水道水の値段っていくらかな？

水道水の値段を調べてみたよ。千葉県営水道の水道水は、1,000Lあたり「約200円」なんだって。

「100円」でボトル水（500mL）1本買ったとすると、水道水なら「約1,000本分」（約500L）使えるんだ！



おいしい水づくりオフィシャルサイト(県営水道)

(3) 作物を育てる水

みなさんは毎日なにを食べていますか。

普段食べている米や麦，野菜やくだものなどは，水田や畑でつくられています。水田や畑の作物は，土に植えて育てますが，太陽の光と水が必要です。

とくに，水がないと作物は育ちません。

・ 昔の農業用水

昔から，わたしたち日本人は，お米をつくるために水田の水をからさないように苦勞してきました。

川をせき止めて水を引いたり，土手をつくってため池にしました。

それでも水が足りないところは，井戸を掘りました。

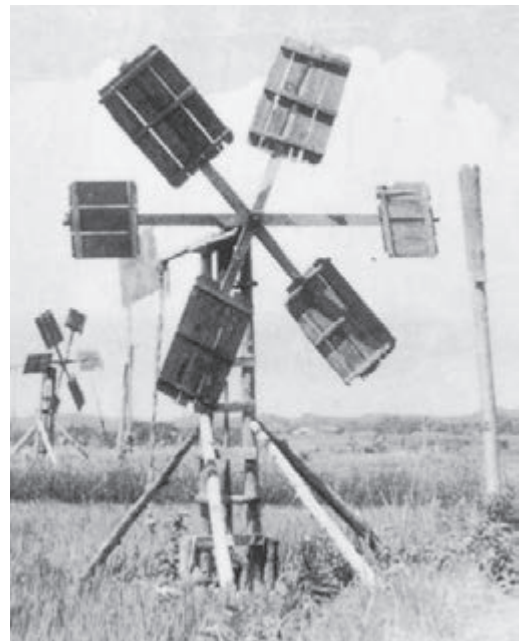
千葉県の外房では，井戸水をくみ上げるため風車が使われることもありました。



あしぶみしきすいしゃおく
足踏み式の水車で水田へ水を送っているようす
(1961(昭和36)年ごろの香取地域(旧佐原市))



むかし たう
昔の田植えのようす
(1961(昭和36)年ごろの香取地域(旧佐原市))



あわちいききゅうまるやまつか
安房地域(旧丸山町)で使われていた風車
ふうしゃ

・今の農業用水（43ページ）

今は、農業用の施設がたくさんあります。

利根川から九十九里地域や北総台地に水を送ったり、印旛沼や手賀沼のように干拓して水田をつくり、沼から水をくみあげてかんがいに使っています。

また、千葉県は野菜の栽培もさかんで、畑のかんがいも多くなってきました。



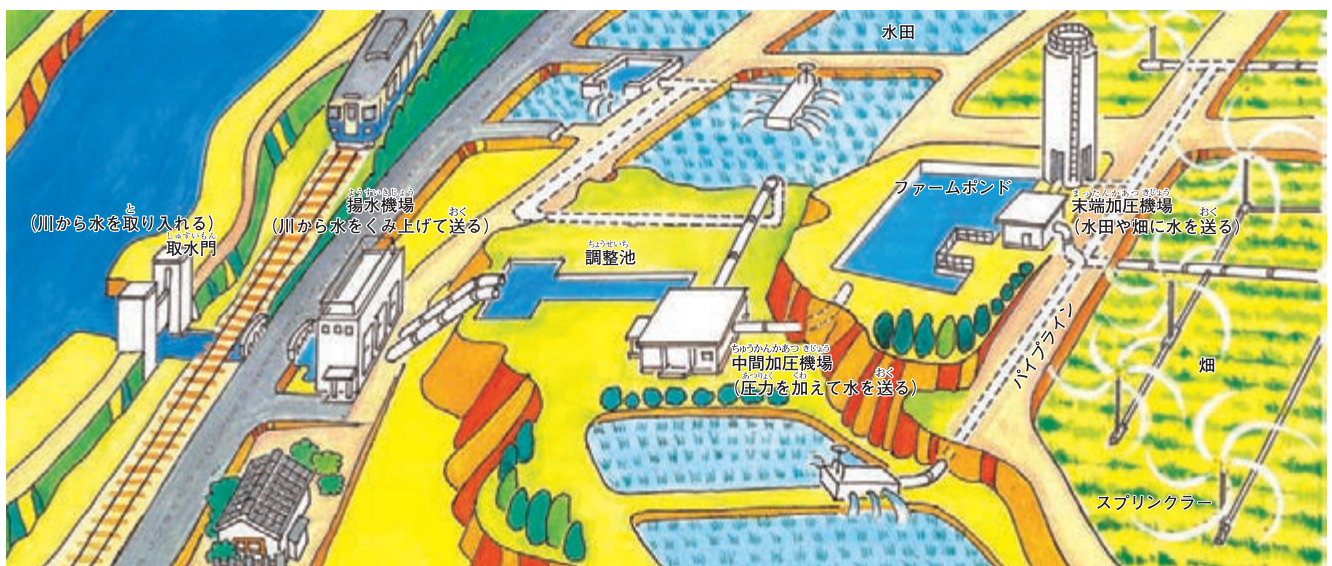
水田へ水を送るところ



スプリンクラーで畑に水をまいているところ



今の田植えのようす



農業用水のしくみ

※絵はイメージです。

注 干拓：沼や海などに堤防をつくって中の水を干して農地などの陸地にすること。

かんがい：作物を育てるのに必要な水を水田や畑に送ること。